

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）公募案件
「電力系統出力変動対応技術研究開発事業／
再生可能エネルギー連系拡大対策高度化」への応募概要

1. 応募の背景・目的

- ・本年1月に施行された再生可能エネルギー固定価格買取制度の改正省令に基づき、電力供給が需要を上回るおそれが生じた場合、再生可能エネルギー発電事業者の皆さまには、時間単位でのきめ細かな出力制御にご協力をいただくこととなりました。
- ・こうしたことから、再生可能エネルギー発電事業者の皆さまの事業予見性確保の観点から、出力予測技術の精度向上、遠隔出力制御システムの標準化および低コストでの実用化が求められております。
- ・さらなる再生可能エネルギーの導入拡大に向けて、当社として本事業に参画し、早期の遠隔出力制御システムの開発、ならびに、最適な出力制御手法の確立を目指すこととしております。

2. 研究開発項目（本事業は主に風力発電設備を対象に実施）

- ・自然変動電源の出力制御に向けた出力予測・把握技術の高度化
- ・自然変動電源の出力制御装置の標準化・低コスト化
- ・自然変動電源の出力制御手法の高度化・最適化
- ・遠隔出力制御システムの開発・実証試験

*自然変動電源とは、太陽光および風力を言う

3. 共同応募者（4者）

- ・東北電力株式会社
- ・国立大学法人東北大学
- ・伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（CTC）
- ・通研電気工業株式会社

4. 事業期間

- ・平成27年度から平成30年度（4年間）

5. 採択スケジュール

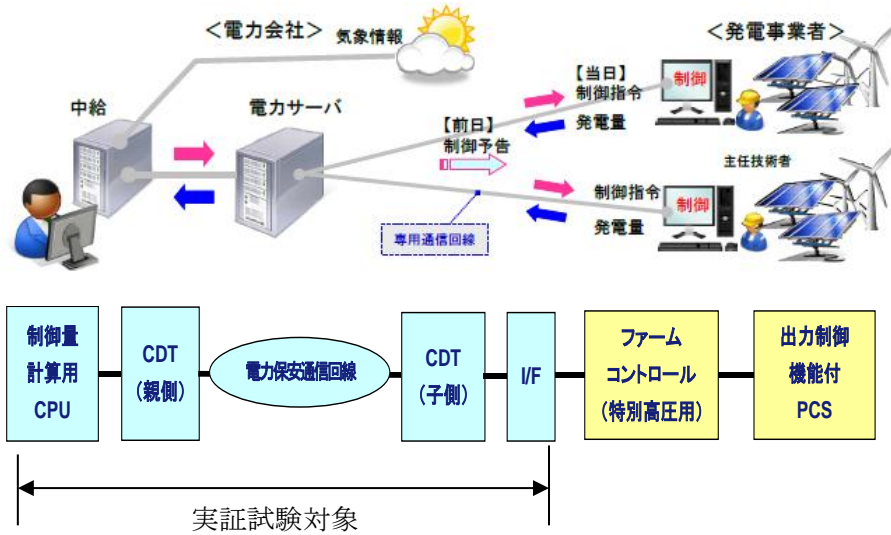
平成27年3月30日：公募開始
4月28日：当社（4者連名）応募
5月 8日：公募締切
6月 下旬：事業者採択決定

以 上

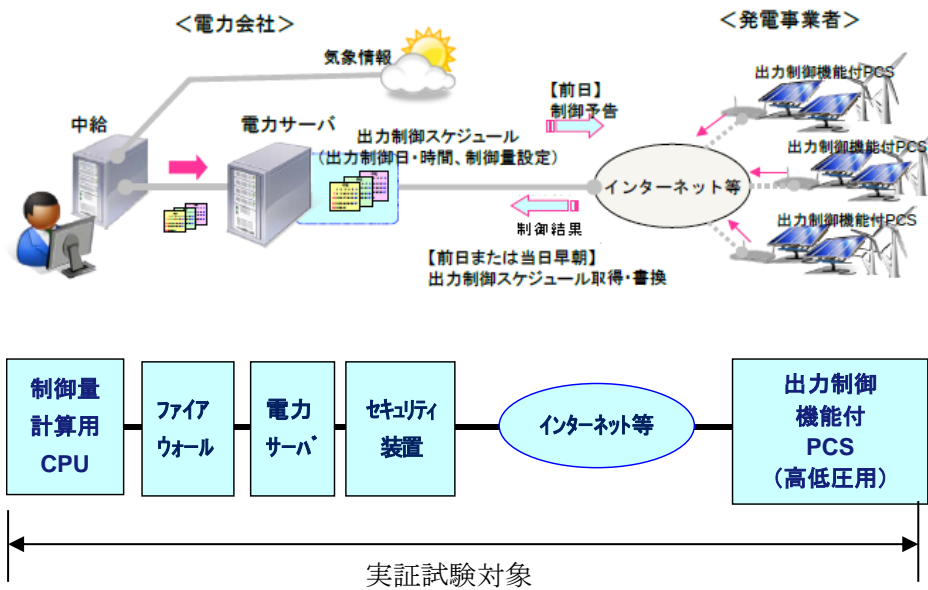
（別紙）想定される遠隔出力制御システムのイメージ

想定される遠隔出力制御システムのイメージ

①専用回線による出力制御



②出力制御スケジュールの書き換えによる出力制御



※上図については、新エネルギー小委員会 第4回系統ワーキンググループ（平成27年2月17日開催）資料より一部引用しております。

以上